

LGBTの人たちは、全国で人口の約8.9%いるといわれています。これは単純計算すると約11人に1人いることになり、AB型/左利きの人たちとほぼ同じ割合ともいえます。

メリアが登場する、LGBTの人たちはほんの一握りで、本当はとも身近な存在。でも、今の社会では周囲の無理解や偏見を恐れ誰にも伝えない人がたくさんいます。

気がついていないだけで「あなたのそばにもLGBTの人はいます。」

LGBT

トランスジェンダー (Transgender)
心と体の性に不一致を感じる人

B
バイセクシュアル (Bisexual)
異性も同性も好きになる人

G
ゲイ (Gay)
同性を好きになる男性

L
レスビアン (Lesbian)
同性を好きになる女性

山折り

これまで普通や当たり前、自然とされてきた性に関する場面で少数派にあたる人々を「性的多様性の人々」といいます。

LGBTは、レスビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字をまとめた総称語です。

4つのカテゴリに限定しない、多様な性のあり方を表すために性的指向(性的魅力を感じる性別)と性自認(自身の性別に対する認識)を用いた考えもあります。

性的指向と性自認は、本人の意志や努力によって変えることはできません。

LGBT?

社会には
男性と女性しかいない

好きになるのは異性だけ

男性は男性らしく
女性は女性らしく

結婚して家庭をつくる

山折り



行動を意識

・キヌク言葉に気を付ける
・ホモ、オネエ、ソッチ系
・「男女」「異性愛」を前提にしない。
・「〇〇なんだから」という固定観念の押しつけをしない。

情報収集

LGBTに関連する本や映画を見たり、イベント/講演会へ参加してみる。自分が学び感じたことを、自ら打ち明けること。本人の許可なくその人の秘密を他の人に話すことは周知の人に発信してしまおう。

アウティングに注意

自身が当事者であることを、勝手に公表することは、カミングアウトは勇気がいることで、相手を信頼している証です。当事者からカミングアウトがあれば他の誰かに話しているかを、確認しましょう。

虹色輝くまちづくり

一人ひとりが、ありのままに自分らしく住める**枚方**に、LGBTを含む多様な人々がありのままで過ごせる社会づくり、一人ひとりが様々な色で「虹色に輝くまち」を目指して、できることから取り組んでいきましょう。

あなたの相手を思いやる心が大切です。

キリトリ

性のあり方

性のあり方(セクシュアリティ)は4つの要素があり、「カラダの性、ココロの性、スキになる性、表現する性」のかけあわせで考えられます。LGBTの人だけでなく、十人十色。一人ひとりに性のあり方があります。

出生時に割りあてられた生物学的な性。戸籍に記載されている性別です。

カラダ

女/男だけにとらわれず自分をどんな性別と思うのか。性自認といいます。

ココロ

どの性別が恋愛対象になるのか。好きになる感情がない人もいます。性的指向といえます。

スキ

どんな風に周囲から見られたいのか。服装/しぐさ/言動など自分の好みがあります。

表現

谷折り

SOGI (ソジ、ソギ)

人にはそれぞれの性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)があり、LGBTだけでなく、多様な性を表す考え方としてSOGI(ソジ)があります。誰もが「SOGI」という、多様なグラデーションの中にいます。

レインボーカラー

性の多様性を表すシンボルカラーは6色の虹です。虹色のグッズを身につけることは、「LGBT知っているよ」の合図となり、ALLY(アライ)＝LGBTの理解者の可視化につながります。

※アライ: 支援/理解者の意味

イラスト: たけうちひろ

ALLY(アライ)の存在

LGBTを理解し応援したい気持ちがあれば誰でもALLYになります。あなたの側にLGBTの人がいないのではなく、気づいていないだけかもしれません。それと同じように、LGBTの人でも誰が「ALLY」なのか分かりません。LGBTの人を探すのではなく、ALLYの存在を伝えるためにできることを行動してみましょう。

山折り

直面する壁

「本当のことを伝えたら、嫌われるかも」
「ばれたら、いじめられるかもしれない」
LGBTの人たちの多くは、差別や偏見の目を恐れ、自分のことを伝えないまま過ごし、直面しやすい困りことがあります。

学校

- ・出生時の性別に基づく「らしさ」を求められ、「らしくない」子からかいの対象に
- ・制服、名簿など様々な男女別に苦痛を感じる
- ・「異性を好きになることは自然なこと」と教えられ、同性愛が笑いの対象にされやすい

仕事

- ・自認する性での就労が困難
- ・配偶者に対する福利厚生制度が同性パートナーに適用されない
- ・結婚、子どもに関する話題がづらい

谷折り

生活

- ・各種手続き/アンケートで性別を記載するときに戸惑う
- ・同性カップルの法的保障がないため、財産が相続できないことも
- ・同性パートナーと死別しても、友達として参列するしかないことも

医療

- ・自認する性で対応を受けられないことが多い
- ・身体について話づらい
- ・同意書のサインや病状説明など同性のパートナーでは認められないことがある

相談先

LGBT電話相談 枚方市人権政策室
TEL: 072-843-5730
受付時間 第2木曜日 15:00 ~ 20:00
(最終受付は終了20分前まで)

よりそいホットライン (一社) 社会的包摂サポートセンター
TEL: 0120-279-338/FAX: 0120-773-776
24時間受付 通話料無料